

私の好きなことば

— 國學院大學久我山中学高等学校で考える —

開倫塾

塾長 林明夫

Q：中学校や高校に出張授業に出掛けているようですね。

A：はい。ここ二十年来、毎年、十数回、所属する経済同友会（東京）と栃木県経済同友会、群馬経済同友会の活動として、中学校や高校、大学や大学院で、「働くことの意義や喜び」、「これからの社会で求められる能力とは何か」などというテーマで、経営者として「出張授業」を行っています。

Q：どのようなお話をしているのですか。

A：毎回、授業の最初に、「私の好きなことば」を「自己紹介代わり」にお話させていただいています。

Q：具体的にお話ください。

A：例えば、先日、2022 年 11 月 27 日（土）に國學院大學久我山中学高等学校の中学 2 年生のグループ 8 名にご紹介したのは、次の 15 のことばです。

1. 「人生は青天井、一生青天井」

2. 「一生勉強、一生青春」（相田みつを）

○一人ひとりの人間の潜在可能性は、青天井の無限大。それは一生続くが、一つだけ条件があります。それは「一生勉強し続ける」ということです。自分の潜在可能性を引き伸ばすために、一生勉強し続けてくださいね。

3. 「教育ある人とは勉強し続ける人」（ドラッカー）

○私は、このドラッカーのことばが大好きです。私は、このドラッカーのことばに「一生」を付け加え、「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」と考えます。

4. 「持続する志」（大江健三郎）

○ノーベル賞作家の大江健三郎に「持続する志」というエッセー集があります。「志」は「持続」し続けてこそ価値を増すものと考えます。

5. 「歴史における個人の役割」（プレハーノフ）

○ロシアの革命家、プレハーノフのことばです。革命だけでなく、すべての国や企業、組織、コミュニティ、家族にも歴史があります。その各々の歴史の中で、一人ひとりのメンバーの果たす役割は、極めて大きいと考えます。

6. 「独立自尊」（福沢諭吉）

○志を高く持ち続け、独立独歩で学んでこそ、自分自身を尊ぶことができると考えます。

7. 「スポーツの三つの宝」(小泉信三)

- (1) 「練習は不可能を可能にする」
- (2) 「フェアプレイ」(いやしいプレイはしない)
- (3) 「よき友」

○慶應義塾の塾長であった小泉先生が、テニス部の監督としてお示しになった、「スポーツの三つの宝」は胸にします。

8. 「注意一秒、ケガ一生」(宮沢浩一)

○慶應義塾大学法学部法律学科のゼミで、刑事政策を担当なさった宮沢先生のおことばです。
宮沢先生は犯罪学もご担当。被害者学の日本への紹介者でもあります。

9. 「離見の見(りけんのけん)」(世阿弥)

○舞台上で踊っている自分の全体の姿を、離れた観客席から見る。自分自身を客観的に見ることの大切さを教えてくれることばです。

10. 「本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」(京都一燈園、石川洋)

11. 「会った人は皆友達」(石川洋)

12. 「目には遠いが、心は近い」(インドのことわざ)

13. 「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」(岡田忠治)

○中学校のクラス担任の先生のことばです。

14. 「練習で泣いて試合で笑え」(椎名弘)

○中学校の柔道部の監督の先生のことばです。

15. 「一所懸命」(足利高校マラソン大会の合言葉)

○「一生懸命」という表現しか知らなかったのが、「一つの所で命を懸けるくらい熱心なものごとに取り組む」というこの表現の意味を知ったときは衝撃でした。

◎皆様も、中学校や高校・大学で先生から教えていただいたことや、社会に出てから様々なところで学んだことの中で、心に響いた「ことば」をメモし、一生の宝物として大切にしてくださいね。

以上のようなお話を授業の最初にします。

Q：毎回、どのように講演を結ぶのですか。

A：(1) 「価値・意味・秩序」という、哲学者の松永澄夫先生のことばをご紹介します。

- ①ものごとを行うときは、まずはそのことの「価値(大切さ)」とは何かをよく考え、認識する。
- ②次に、そのことの自分にとっての「意味」を自分の力で考え、「意味付け」を行う。
- ③最後に、ではどうしようと、行うべきこと、行わないことを「自己決定」。自分で「ルール」をつくり「秩序」だった行動をする。

(2) ①「学校のよさ、地域のよさ、東京のよさ、日本のよさ、近くにいる一人ひとりのよさを考える」(よさの発見)

②そのうえで、自分の「よさ」「潜在可能性」を探し出す。そして、よいところは、自分の力でどんどん伸ばす。

③「やりたいこと」「できること」「やるべきこと」は何かを考え、将来に備えよう。

④「高い志」をもち、「自律的に行動する力」が最も大切。

(3) 「健康第一、心の健康、身体の健康を大切に」

○このように締めくくります。